

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2012.9.25 No. 146 連絡先 FAX 042-555-1911



## パネッタ国防長官 E-4Bで横田基地へ 日米防衛相会談 オスプレイ飛行強行

2012年9月17日、パネッタ国防長官が横田基地を訪れ、「私は世界最強の軍事力を維持したい」など、300人以上のメンバーに話しました。(米軍 HP より)

国防長官の来日は、MV22 オスプレイの普天間基地配備を、何がなんでも強行するためです。国防長官は17日午前、玄葉光一郎外相や森本敏防衛相と会談。政府は19日、「特に危険と考える根拠は見出し得ない」と断定、オスプレイの「安全」を宣言。21日から岩国基地で試験飛行が強行。

(写真上：E-4B 撤去ブログ、右写真：横田基地のパネッタ国防長官 米軍 HP)



### 日米防衛相会談概要 (2012年9月17日、森本防衛大臣とパネッタ米国防長官の会談概要)

**1 日米防衛協力** 両閣僚は、アジア太平洋地域における安全保障環境について意見交換し、日米同盟が、日本の安全と地域の安定の確保のために引き続き重要であることを再確認し、特に以下の分野の日米防衛協力について、協議を加速することで一致した。

(1) 動的防衛協力 両閣僚は、日米の「動的防衛協力」について、各種の共同訓練等を通じて同盟の抑止力を強化するために日米間で連携するとともに、地域における警戒監視活動につき日米間の協力を深めるための議論を行う意図を確認した。両閣僚は、日米の RMC 及び 1997 年の日米防衛協力のための指針に関する研究・議論の重要性につき再確認し、今後、必要な研究・議論を行っていくことで一致した。

(2) BMD 両閣僚は、本年4月の北朝鮮によるミサイル発射など、引き続き弾道ミサイルの脅威が安全保障上の重大な懸念であることを踏まえ、我が国及び地域の安全保障の確保に資する戦略態勢の構築の観点から、Xバンドレーダーの日本における今後の配備のあり方も含めたミサイル防衛能力の向上に係る日米間の調整を継続することで一致した。

**2 オスプレイ** 両閣僚は、日米合同委員会においてオスプレイの安全な運用に関する議論が大きく進展していることを確認し、森本大臣より、引き続き合意内容が前向きでかつ安全に配慮したものとなるよう要請した。また、両閣僚は、日米合同委員会での合意案の調整が整い、安全性が再確認された段階で、オスプレイの飛行運用が可能となる旨確認した。パネッタ長官からは、地元の懸念を踏まえ、安全な運用に配慮したい旨発言があった。

**3 在日米軍再編** 両閣僚は、抑止力の維持と地元の負担軽減という米軍再編の目標を改めて確認し、普天間飛行場の辺野古への移設、グアム移転に係る費用内訳の完成、嘉手納以南の土地の返還に関する統合計画の作成など、本年4月の「2+2」共同発表の合意を実現すべく、引き続き全力で取り組んでいくことを再確認した。森本大臣より、嘉手納以南の土地の返還に関する統合計画について、本年12月までの作成に向けて前向きに取り組んでもらうよう協力を依頼した。



## 曇り空 雨にも負けず 第42回横田座り込み

9月16日は94人が参加。三多摩革新懇、9条の会、新婦人の会、日本平和大会東京青年実行委員会など多彩な参加者でした。

自衛隊情報保全隊の座り込み監視に対して、政府・防衛省に厳重に抗議し謝罪と監視活動の中止を参加者一同で求めました。

## 横田基地 MC-130など様々な飛来機が 激増している (No.146の裏面)

横田基地に外来機が多くなっています。米大統領や米国防長官しか乗れない E-4B の飛来も珍しくなくなりました。横田友好祭後にステルス戦闘機 F-22 もも飛来、16日には、偵察機 RC-135 や E-3B も目撃。嘉手納基地の MC-130 (右写真) 7機が 8月24日に飛来しています。



## 韓国で演習中の攻撃型 AC-130U が飛来 KC-135 空中給油機も 7機並ぶ

9月5日、8日、15日に、フロリダ州ハールバートフィールド基地所属の攻撃型 AC-130U が横田に飛来しています。(右写真)

9月4日付の太平洋軍 HP に、フロリダ州ハールバートフィールド基地の空軍特殊作戦群の部隊が韓国・群山基地で訓練をしていると記載され、12日には、韓国のピルスン射爆場で AC-130U が共同近接航空支援演習をしている、と記載されています。



9月20日付の第7空軍 HP では、韓国軍特殊部隊と在韓米空軍の合同演習が行われ、その中でピルスン射爆場で9月2日から14日まで AC-130U の2機による近接航空支援 (CAS) が行われたと記載されています。ピルスン射爆場は太白山の山麓にある韓国軍の射爆場です。演習に参加した AC-130U が横田に飛来したと思われます。(写真説明: AC-130U は、お腹が白いところなど MC-130 と似ていますが、(左から) ガトリング砲、40mm 機関砲、105mm りゅう弾砲を抱えた攻撃機です。)



また、KC-135 空中給油機 (左写真) が 9月10日午後飛来し、11日朝、7機並んでいました。KC-135 の大量飛来は。AC-130 のエスコートとともに、グアム近海を中心に行われた演習参加機のエスコートではないかと指摘する研究者もいます。(写真等: 横田撤去ブログ)

## 横田基地周辺自治体議会「オスプレイ」陳情の審議 その2

「横田基地もいらない! 10・27 市民交流集会実行委員会」が横田基地周辺自治体の5市1町に提出していた「MV22 オスプレイ」関係の陳情書の審議状況を前号に続き、お知らせします。

◇ 18日: 立川市・総務委員会 (委員7人) 結果 採択3人 不採択3人 委員長採択で採択

(※ 採択は公明党2人、市民の党1人、共産党 (委員長) 1人、不採択は民主・市民2人、自民1人)

◇ 19日: 武蔵村山市・総務文教委員会 (委員7人) 結果 採択1人 少数につき不採択

(※ 採択は共産党1人、不採択は新政会3人、民主党1人、公明党1人)

## 「オスプレイ配備は古傷に塩をすりこむようなもの」とNYタイムズ

ニューヨーク・タイムズは15日の社説「沖縄のオスプレイ」で、沖縄に配備が計画されている米海兵隊の垂直離着陸機 MV22 オスプレイについて、配備計画の見直しを提案しました。

同社説は、オスプレイについて「トラブルにたたられている」と表現し、「ひどい評判のものだ。非常に高額で、有用性に疑問が出ている兵器システムの典型例だ」と指摘。海兵隊側は同機の「悪名高い欠陥」が解決済みだと固執しているが、事故が後をたたないとしています。

「(県民が) 心配しているのは、事故が起こりやすいということだ。すでに米軍の存在による重い負担を背負わされてきた多くの住民にとって、オスプレイの配備は古傷に塩をすりこむようなものだ」としています。米政府には県民の懸念に耳を傾ける義務があるとして、「(その手始めに) オスプレイの配備先をどこか他の場所に移すことができるだろう」と結んでいます。